

大学名	区分	項目	2023年度	2022年度	変更点
弘前大学	一般 〔青森県定着枠〕 総合型Ⅱ 〔青森県内枠〕 〔北海道・東北枠〕	出願資格	青森県のキャリア形成卒前支援プランへの参加が必須となることに同意できる者	—	出願資格の変更（地域枠の入学者に対して、青森県のキャリア形成卒前支援プランへの参加が必須に）
福島県立医科大学	総合型	選抜方法	【1次】総合問題 【2次】総合問題、面接、出願書類	【1次】総合問題、出願書類 【2次】総合問題、面接	出願書類の評価タイミングの変更（1次選考→2次選考に）
	学校推薦型 (A枠)	出願資格	本学卒業後に本学附属病院又は本学が指定する福島県内の医療機関等で3年以上、医学・医療に従事することを誓約できる者 ※「3年以上、医学・医療に従事する」とは、2年間の臨床研修を含め、連続して3年以上、医学・医療に従事することをいう。	本学卒業後に本学附属病院又は本学が指定する医療機関で2年間の臨床研修を行うことを誓約できる者	出願資格の変更
東京大学	前期	2段階選抜	約3倍	約3.5倍	第1段階選抜の基準を変更
東京医科歯科大学	地域特別枠推薦 〔埼玉県地域枠〕	募集区分	新規実施 ※詳細は募集要項を参照	—	地域特別枠推薦〔埼玉県地域枠〕の新規実施
		募集人員	5名以内	—	
	地域特別枠推薦	2段階選抜	2倍	4倍	第1段階選抜の基準を変更
新潟大学	学校推薦型	募集人員	60名(一般枠20名, 地域枠40名※) ※新潟県内の高校出身者22名, 全国の高校出身者18名	53名(一般枠20名, 地域枠33名※) ※新潟県内の高校出身者22名, 全国の高校出身者11名	募集人員の変更
横浜市立大学	前期 〔地域医療枠〕	募集人員	9名	10名	募集人員の変更
	学校推薦型 〔地域医療枠〕	募集人員	6名	5名	募集人員の変更
	学校推薦型	出願資格	下記に定める資格のいずれかのスコア・級を有し、公式な成績証明書提出できる者 TOEFL-PBT500 (iBT61), TOEIC (L&R) 600, 英検準1級, GTEC (検定版・CBT) 1140, またはIELTS5.0	下記に定める資格のいずれかのスコア・級を有し、公式な成績証明書提出できる者 TOEFL-PBT460 (iBT48), TOEIC (L&R) 500, 英検2級, GTEC (検定版・CBT) 1000, またはIELTS4.5	出願資格(英語資格要件)の変更
	選抜方法	出願者数が所定の人数を超えた場合、全体の評定平均値(4.3~5.0)と英語資格点(3.0~5.0)の合計点(7.3~10.0)および出願書類の総合評価により、第1次選考を行う。	出願者数が所定の人数を超えた場合、全体の評定平均値(4.3~5.0)と英語資格点(2.0~5.0)の合計点(6.3~10.0)および出願書類の総合評価により、第1次選考を行う。	英語資格点および評定平均値との合計点の基準変更	
金沢大学	前期	選抜方法	口述試験では、勉強意欲と資質、医師としての適性などを判断するための多面的試問を行う。口述試験にて医師の適性を欠くと判断された場合には、学力試験の成績に関わらず不合格となることがある。	—	合否判定基準の追加
岐阜大学	前期	募集人員	55名	45名	募集人員の変更
		2段階選抜	約9倍	約15倍	第1段階選抜の基準を変更
	後期	選抜方式	—	実施	後期日程の廃止
名古屋大学	前期	募集区分 募集人員	一般枠85名, 地域枠5名	一般枠90名	地域枠の新設とそれに伴う募集人員の変更
		2段階選抜	大学入学共通テストの成績が900点満点中600点以上	大学入学共通テストの成績が900点満点中700点以上	第1段階選抜の基準を変更
	後期	募集区分	一般枠5名	地域枠5名	募集区分の変更(地域枠→一般枠)
和歌山県立医科大学	学校推薦型 (県民医療枠)	募集区分 募集人員	県民医療枠A(現行の県民医療枠)5名程度 県民医療枠B(「産科」に従事する医師を育成する募集枠)3名程度	県民医療枠5名程度	県民医療枠Bの新設とそれに伴う募集人員の変更
	学校推薦型 (一般枠)	出願資格	1浪まで可	現役のみ	出願資格の変更(現役のみ→1浪まで可に)
	前期 (県民医療枠)	募集区分 募集人員	県民医療枠A(現行の県民医療枠)10名程度 県民医療枠C(県内で特に不足する3診療科〔産科, 小児科, 精神科〕に従事する医師を育成する募集枠)2名程度	県民医療枠15名程度	県民医療枠Cの新設とそれに伴う募集人員の変更
	前期	2段階選抜	第一段階選抜については、以下のとおり大学入学共通テストの総合得点かつ志願倍率により、一般枠、県民医療枠A、県民医療枠Cの区別なく実施し、合格者を決定する。 ○大学入学共通テストの総合得点：原則として630点以上 ○志願倍率：約3.4倍	志願者が募集人員(79名)の約3.3倍を超えた場合は、大学入学共通テストの成績により第一段階選抜を行う。	第1段階選抜の基準を変更
岡山大学	前期	募集人員	95名	98名	募集人員の変更
		2段階選抜	3倍(通過予定人数: 285名)	4倍(通過予定人数: 392名)	第1段階選抜の基準を変更
広島大学	前期	2段階選抜	5倍(通過予定人数: 450名)	7倍(通過予定人数: 630名)	第1段階選抜の基準を変更
		選抜方法	【A(s)配点(理科重視型)】 数学300点, 理科1200点, 英語300点 【A(em)配点(英数重視型)】 数学800点, 理科200点, 英語800点 【B配点(一般型)】 数学600点, 理科600点, 英語600点	【A配点(理科重視型)】 数学300点, 理科1200点, 英語300点 【B配点(一般型)】 数学600点, 理科600点, 英語600点	A(em)配点(英数重視型)の新規実施
		選抜方法	(1)「A(s)配点」の上位から募集人員の1/2(募集人員が奇数の場合は端数を切り上げた人数)または「A(em)配点」の上位から募集人員の1/2(募集人員が奇数の場合は端数を切り上げた人数)に該当する者を合格とする。 (2)(1)の合格者を除く「B配点」の上位から残りの合格者を決定する。	まず「A配点」を用いて募集人員の1/2(募集人員が奇数の場合は端数を切り上げた人数)の合格者を決定し、次に「B配点」を用いて残りの合格者を決定する。	合否判定基準の変更
		提出書類	履歴書(指定様式)	—	履歴書の追加
香川大学	国際バカロレア	選抜方式	新規実施 【募集人員】若干名	—	国際バカロレア選抜の新規実施
愛媛大学	学校推薦型ⅡB (地域特別枠推薦)	募集人員	5名	20名	募集人員の変更
	総合型Ⅱ	提出書類	志望理由書 ※点数化せず、面接に含めて評価する	—	志望理由書の追加

大学名	区分	項目	2023年度	2022年度	変更点
九州大学	前期	2次科目	外国語〔英語〕	外国語〔英語、ドイツ語、フランス語から1科目選択〕	外国語の選択科目の変更
佐賀大学	前期	2次配点	調査書（点数化しない）	調査書100点	調査書の点数化廃止 （2次配点比率が630:400→630:300に）
	後期	提出書類	課題論文	自己推薦書	提出書類の変更（自己推薦書→課題論文）
		入試日程	2023/3/12(日)	2022/3/12(土)・2022/3/13(日)	入試日程の変更（2日程→1日程に）
		2次配点	面接120点, 調査書（点数化しない）	面接180点, 調査書100点	配点の変更, 調査書の点数化廃止 （2次配点比率が630:280→630:120に）
	学校推薦型Ⅱ	2次配点	書類審査（点数化しない）, 小論文150点, 面接90点	書類審査280点, 小論文120点, 面接120点	配点の変更, 調査書の点数化廃止
		2段階選抜	（一般枠・佐賀県枠） 募集人員の5倍を上回った場合, 書類(調査書, 推薦書等)による第1次選考を行う場合がある （長崎県枠） 募集人員の10倍を上回った場合, 書類(調査書, 推薦書等)による第1次選考を行う場合がある	—	2段階選抜の新規実施
佐賀県推薦	2次配点	書類審査（点数化しない）, 小論文150点, 面接90点	書類審査260点, 小論文120点, 面接140点	配点の変更, 調査書の点数化廃止	
長崎大学	学校推薦型ⅡA/ⅡB	選抜方法	大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点率が, 原則として75%に満たない場合は不合格	大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点率が, 原則として80%に満たない場合は不合格	合格判定基準の変更
	学校推薦型ⅡC			大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点率が, 原則として80%に満たない場合は不合格	
	学校推薦型ⅡD			大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点率が, 原則として80%に満たない場合、あるいは大学入学共通テスト外国語科目の得点率が、原則として85%に満たない場合は不合格	
鹿児島大学	後期	募集人員	21名	23名	募集人員の変更

※出願予定の大学は、必ず募集要項で確認してください。